

第9回品質改善委員会

横浜ゴムにおけるホース配管アッセンブリー工場の概要と 品質管理改善活動への取組み事例紹介と工場見学



平塚東工場で作られる主要な製品は、建設機械用油圧ホースや自動車用パワステ・エアコンホース。建機や自動車本体に繋げる金具とホースのアッセンブリーを行っている。各部品の種類が非常に多くヒューマンエラーが起きやすいため、システム化で改善を進めてきた。

システムを導入したのは油圧ホースの組み立て工程。12ライン、66工程、330項目すべての工程・項目データの収集と分析から開始。各工程にシステム的な関所を設け、発生したミスを工程内で完結させるようにした。具体的には、全工

程にパソコンのディスプレイを設置し、指図内容や作業完了等をすべてコンピューターで管理。不具合が発生するとアラームを鳴らし、次工程に持ち越さずに工程内にとどめる仕組みとした。

まず金具の出庫（ピッキング）はバーコードリーダーで品番間違いを防止。刻印やホース切断、加締等、PC画面の加工寸法指図等に従い作業し、完了ボタンをチェック。ホースは600種類以上あり、品番や切断長等が違くとアラームにより設備が停止。ラインリーダーを呼びアラームを解除する。耐圧試験は通常使用される2倍の圧力をかけて洩れをチェック。工程内検査の成績表示が必要な物には検査成績書を添付し出荷される。

当工場のモットーはA「当たり前のことを」、B「バカみたいに」、C「ちゃんとやる」。何事も愚直に物事に当たろうという想いを込めている。

事例紹介後、説明を受けながらの工場見学と質疑応答を行い終了した。

（文責 事務局）